

営農技術情報 (第4号)

令和元年6月
富山農林振興センター
富山市農業協同組合

～「JA富山市米品質向上生産運動」実施中～
1等米比率90%以上を達成しよう!!

6月中旬現在のコシヒカリの生育は、平年に比べ草丈はやや長め、茎数はかなり多く、葉色は平年並みとなっています。
中干し後は間断かん水を徹底し、稲体の活力維持に努めましょう。

コシヒカリの生育状況
(JA富山市管内6/17調査結果)

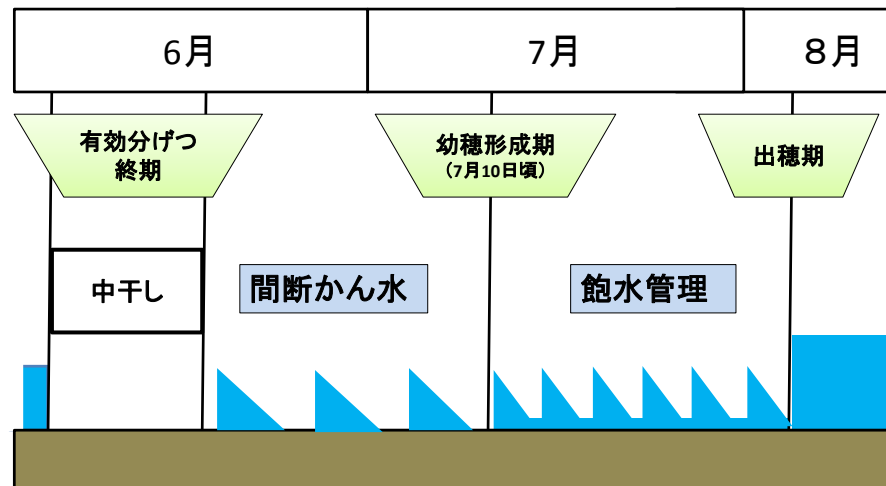
	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢	葉色
R1年	43.2	516	9.2	4.4
昨年	40.8	417	9.3	4.3
平年	41.0	424	9.3	4.4

中干し後の水管理

- ・中干し後から幼穂形成期までは「間断かん水」を行い、足跡の深さ3cm程度を目標に地固めしましょう。
- ・幼穂形成期から出穂期までは「飽水管理」で、根の活力維持に努めましょう。

※中干しを実施していない場合は、速やかに中干しを実施してください。

水管理のイメージ(コシヒカリ)



「てんたかく」分施田の穂肥

・幼穂長1～2mmを確認したら、施用する。

	1回目 (6/26-30頃)	2回目 (1回目の10日後)
追肥3号	10～12 kg/10a	12～13 kg/10a
LP追肥38号	18～20 kg/10a	-



てんたかくの生育状況
(JA富山市管内6/17調査結果)

	葉齢	幼穂形成期
R1年	10.0	(6/29)
昨年	9.3	7/3
平年	10.0	6/29

※基肥一発肥料のほ場で、7月10日頃の葉色が4.0を下回る場合は、追肥3号で5kg/10a (チッソ成分で0.7kg/10a) 程度の追肥を行い、適正な葉色に誘導しましょう。

草刈りの徹底

- ・カメムシは、イネ科雑草の穂を特に好み、農道や畦畔、水田周辺の雑草が発生源となります。
- ・斑点米の発生を防ぐには、本田防除の前に草刈りを実施することでカメムシの餌場を無くし、生息密度を低くすることが重要です。



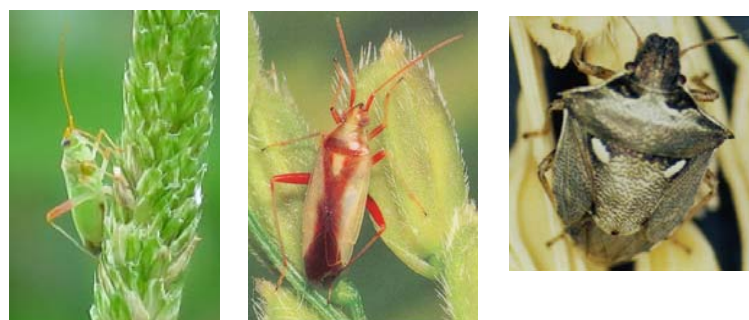
カメムシ類が好む主なイネ科雑草
(左:ナギナタガヤ 右:メヒシバ)

【斑点米と主な斑点米カメムシ類】



目安として、
玄米 1000粒に
2粒混じると
2等米に格下げ!!

<主な斑点米カメムシ類>



アカヒゲホリミドリカスミカメ アカシガカスミカメ トゲシラホカメムシ

地域全体で草刈りを行い、カメムシの発生源を減らしましょう!!

草刈運動期間 7月1日～7月10日 一斉草刈日 7月6日(土)～7日(日)